

- 給食やおやつ、活動中の水分補給時の飲み物は現状同様、お茶か牛乳にしてください。おやつに市販のジュースを出す・毎日ヤクルトを飲む等は望んでいません。
- 子どもがおかわりできるよう、十分な量を提供してください。
- 毎日の給食・おやつの内容と量が分かるような見本展示や掲示を行ってください。
- 給食・おやつに関する予算の削減はしないでください。

10.保護者会について

保護者会との良好な関係を維持し、保護者会の実施する行事（幹事会、夕べのつどい、文化的プレゼントなど）を変わらず実施できるようにしてください。実施に際しては適時場所の提供や備品の貸し出しなどを行い、卒所した児童や移管前に在籍していた先生の参加を妨げることもしないでください。

運営事業者として決定直後から三者協議会へ参画し、合同・引き継ぎ保育を含めた移管後の保育について、保護者の意見も取り入れて、積極的な協議を行ってください。

11.地域に開かれた保育所としての役割

公立保育所では園庭開放を行っており、未就園児の保護者からも好評を得ています。自分の子どもが同年代のお友だちと遊べるというだけでなく、保育士に悩みや不安を相談できる場であることも重要です。「赤ちゃんの駅」としての機能も持つことで、地域の子育て支援の一拠点としても大切な存在です。

芦屋市独自のプログラムにより、年長児は小学校を訪問し給食を食べたりプールで遊んだりすることで、就学前から1年生になることを楽しみにしています。また、近隣幼稚園、保育園やこども園等、同じ市内の同世代の子どもたちとも合同運動会や施設訪問で交流を持っています。避難訓練の際には県立芦屋高校の生徒さんたちと避難行動をし、老人福祉施設ではおじいちゃんおばあちゃんとも交流し、クッキングの材料を買いに打出商店街に出向き、お店で働く人たちとも交流します。

保育所の外部の人たちとの交流によって、子どもたちは礼節やコミュニケーションを学び、外の世界を広く知ることができています。忙しい保護者に代わってそういった経験をさせてくれる保育所のプログラムはとてもありたいと感じています。**経験によってしか培われないそういった交流を、移管後も積極的に行ってください。**

12.施設管理と運営について

①認定こども園への移行

民間移管が発表され、それは決して覆らないのだと知らされた時、保護者は無力感を抱き、大きな心労を感じました。また、移管に係る市との面談に多くの時間と労力を費やしてきました。環境が変化するという事はそれだけ大きなことです。移管さえなければしなくてよかった苦勞です。**これから打出保育所に入る子どもたちとその保護者に同様の思いをしてほしくありません。**

移管後も認可保育施設として運営し、認定こども園にはしないでください。また、移管前から在所の子どもが卒所後、どうしても認定こども園への移行や定員の増加を行う必要がある場合には、必ず計画段階から保護者に情報提供を行い、移行理由についての丁寧な説明を実施し、必ず全世帯の同意を得てください。

②苦情解決のための仕組みについて

苦情解決のための窓口担当者や解決責任者を設定し、保護者からの苦情を解決するための仕組みを整備してください。保育所内だけの解決が難しい場合には第三者委員会等、外部組織にも相談できるようにして、連絡先や相談方法を保護者に周知するようにしてください。また必ず関係する保護者全ての同意を得たうえで、解決に至るまでの経緯と結果、のちの対策について等を報告してください。

③利用者アンケートの実施

移管後、定期的に全世帯への利用者アンケートを実施してください。結果については必ず保護者に公開し、不満や不安のある場合には改善計画の提示や結果の公表を行ってください。

④保育所建物の建て替えとそれに伴う引っ越し

芦屋市は、保護者との移管に関する話し合いの中で突然、保育所建物の建て替えを民間移管に伴う合同・引き

継ぎ保育の期間中に実施する計画について提示してきました。そのような計画が持ち上がった最大の理由は令和3年4月に移転する精道こども園の元の敷地・建物が建て替え時の仮園舎として利用できるからというものです。子どもにとっては「環境」と「人」という、保育に必要な要件が同時に大きな変化を強いられるもので、子どもへのストレスをあまりに軽視したプランはとて受け入れられません。また保護者にとっては送迎に係る大きな負担を無視できない計画です。公立保育所として市の予算のみでの建て替えは厳しいが、民間運営となることで国や県からも補助金を受けての建て替えが可能であるというなら、移管後に事業者が打出保育所の保育に十分に慣れ、子どもも保護者も新しい事業者の保育を受け入れ、落ち着いてからの実施でも問題はないはずです。

劇的な環境変化を子どもたちに強いる移管・建て替えの同時実施は行わないでください。市と協議し、移管後の引き継ぎ保育期間終了後以降の建て替えを長期的なプランとして計画してください。ただし、現状行っている保育内容が実施できなくなるような建築計画（例：プールがなくなる・畑がなくなる等）については容認できません。建て替えを実施の際は建築計画についても保護者への説明を行ってください。

尚、建物の老朽化については保護者もこのままではよくないと懸念しており、建て替えそのものに反対する意向はありません。

また建て替え計画とは関係なく、遊具の入れ替えや撤去を行う時は安全性や目的を明確にし、きちんとした説明を行ってください。

以下はアンケートに書かれた保護者からの不安・不満・事業者へ望む声です。

■民間移管されることへの不安（保護者アンケートより抜粋）

①子どもへの心身への影響に関する不安
・急に色々なことが変わると子ども達の心の安定が崩れないかすごく心配で不安です。
・先生たちが全員変わる点にとっても心配です。子どもたちのことを知っている人がいなくなるのは、子どもたち自身も不安だと思います。
・子どもの心理的ストレス、送迎の負担、引継ぎが十分行えない等不安要素が多すぎます。
・先生が変わることによる子どもへの精神的影響がないか心配
・合同・引き継ぎ期間中に、新しい先生と子どもが十分な信頼関係が築けるのか心配→実際に他市では信頼関係が十分に築けなかったが故に、移管後に1歳児では異常なほどの嘔み付き行為が起こった、3歳児ではチック症がひどくなり退所せざるを得なくなった、4・5歳児では先生への試し行為が見られたといった事が起こっている。
・公民の先生同士が引継ぎや保育に対する考え方の違いから、ぎくしゃくすることによる子どもへの精神的・身体的影響がないか心配（引継ぎがうまくいなくて子どもに当たる、子どもに目が行き届かず事故が起こる等）
・子どものメンタルは心配。
・ XXXXXXXXXX 入園(転園)した時、親が思う以上に子どもが慣れるのに時間がかかりました。毎朝、園での別れ際に大泣きしました。先生は知っている先生ばかりでも、園内が変わっただけで、子どもにはこんなにも大きな影響を与えることになるとは・・・、と他のお母さんらとも驚いていましたので、慎重にお願いしたい。
・市民の立場、子どもの立場に立って考えていただきたいです。

②移管先に対しての不安

- ・株式会社からの応募は不可にしてほしい。利益を出さなければならない為、子どもが第一ではなくなる不安が大きい。
- ・今までの様に手厚い保育がされるのか、不安と心配があります。特に株式会社だと利益優先にならないか心配です(株式会社だと利益がないと運営できないので、子どもたちの安全より安価の方を優先されそうです)。
- ・株式会社による保育所運営で多くの問題が起こっており、特に人件費を抑えることによる保育士の待遇の悪さは、結局保育士さんのモチベーションを下げ、子ども達にしわ寄せが来ます。一斉退職による閉園や転園も起こっており、株式会社を募集対象から外してほしいです。
- ・真に子どものことを考えて引継ぎを行ってくれる優良な事業者が来てくれるのか、選ばれるのか不安。
- ・条件に見合う業者からの応募がなければ、無理矢理民営化するのではなくその期間は市営で継続してほしい。
- ・募集期日までに適した事業者がいなかった場合、民間移管は延期するのかが不安です。

③引き継ぎに関しての不安

- ・現保育士との引継ぎが3ヵ月程度と聞いているが短すぎると思います。十分な引継ぎが行えるようしっかりと引継ぎ期間を設けてほしいです。移管先事業者の企業情報、実績、職員のプロフィール等の詳細を保護者が不安に思わないように十分な情報の開示を希望します。
- ・打出保育所の保育を引き継げるほど十分な保育経験を持った民間保育士が来てくれるのか不安。
- ・現在の保育士の方々のレベルが高いために、このレベルを引継げるのかが心配です。朝夕のパートの先生は引き続きになるという話を聞きましたが、実現されることを強く希望します。
- ・移管時の移行期間の短さ。

④民間移管と引っ越しの同時実施案に関する不安

- ・不安は多くあるので、引継ぎ期間を手厚くする必要はあり、特に同時に行う場合は引継ぎ後ももっと手厚くすべき。そして現状、引継ぎ部分があいまいすぎる。もっと早急に話をすすめるべき。でないと誰も納得はできません。
- ・十分な引継ぎの下、初めて民間移管が完了したと言えるにも拘らず、同時期に建替えを行うことは、打出保育所職員の皆様や我々保護者はもちろんのこと、子どもたちへの影響はかなり大きくストレスの原因になりかねないと思います。
- ・先生ががらっと変わる事自体子どもたちにとって負担とストレスになるのに、さらに環境が変わるなんて考えられません。大人たちの都合で子どもたちの成長に支障をきたす事になるかもしれないのは、許されません。絶対反対です。建替えは安全面を考えると致し方ない為、民営化時期をずらした方がいいと思います。
- ・民間移管と同時期の建替え・引っ越しには反対です。子どもたちは新しい先生、新しい建物、進級と一度にやってくる変化の連続に困惑する子も出てくるだろうし、そんな中を信頼関係の築けていない民間職員が保育をするのは、リスクが高いと思います。民間移管後3年は建替えないでいる

べきです。
・民間移管と同時に行うのは絶対に反対。
・精道幼稚園跡地は、公立打出保育所職員にとっても初めての場所なので、長年の打出保育所における保育生活の動線、物の配置、ヒヤリハットの起きやすい場所などを引継ぐことはできません。移管後新園舎で引継ぎを行う際には、公民保育士共に初めての場所であるので、保育において注意すべき点は分からず、物の配置なども把握できない状態であるため、子どもに目が行き届かず、事故などが起こるのではないかと心配です。
・移管前も移管後も極めて不十分な引継ぎ期間（人数、頻度も）しか設けず、その上引っ越しで全く新しい園舎で新しい先生とスタートなんて、危険としか思えない。
・民間移管で先生が変わり不安を覚える時に、保育の場所まで不安を与えることはあり得ないと思う。
・民間移管と建替え・引っ越しが同時に行われるのではないかと不安。
・引っ越し、慣れない場所での保育、再度の引越し、新しい保育所、新しい先生。子ども達は環境の変化に対応できないと思います。民間移管と引っ越しを同時に行うことは反対です。
・建替えはいつかしなければいけないことだけれど、その時期に子どもを通わせる親はやはり不安。
・移管時期を遅らすことができないのであれば、建替え・引っ越しは、移管を経験した児童が卒所してからにして欲しいです。
・移管と同時はよくないと思います。移管先事業者も、建物の現状を理解した上で工事のプランから同席すべきだと思います。
・民間移管だけですら負担が大きいのに、1年ごとの引っ越しは保護者、職員にとってもストレスが大きいです。同時の案では、仮園舎での引継ぎとなり、それでは、引継ぎの意味をなさないと思います。
・同時に行うことは反対。理想論は、先ず建替えを行い、その後の3年後等に民間移管。全てを急ぐ必要性に疑問を感じる。
・普通に考えたら、民間移管・建替え・引っ越しを同時にするなんてあり得ないと思う。
・手厚い引継ぎや、長い引継ぎ期間が設けられなければ、移管を遅らすか建替えを遅らすか考えてほしい。
・変化が多すぎるので、どちらか一方がある程度落ち着いてからもう一方を実行するなど、3~4年程度期間の余裕をもって実施してほしい。

■民間移管に対しての要望（保護者アンケートより抜粋）

①打出保育所から引き継いでほしいこと
・全ての行事。今の保育プログラムに沿った保育。
・今以上の質を求める。行事、給食、その他全て引継いでほしい（移管係の方がまとめて下さっている条件は必須）。
・保育所名・クラス名・所歌を継続して使用してください。移管による先生の入替わりは子どもに大きなストレスとなります。クラス名など変えずに済むところは変えないでください。
・打出保育所の歌は是非、引き継いでほしいです。

<p>・急激な先生の入替わり、環境の変化だけで子どもには十分な負担がかかっています。そのうえで、今までしていた保育が変わってしまうと更に子どもは混乱しますので、子どもに良かれと思って民間の保育を導入していただくことは有難いですが、移管後1年目は公立打出保育所の保育を継続してください。また2年目以降も保育や行事において大幅な変更がある場合は関係者協議で話ってください。</p>
<p>・給食・おやつはこれまでのような、園内での手作りを希望します。</p>
<p>・自分たちで植えて育て、そしてそれを食べるなどさまざまな食育。</p>
<p>・園庭や砂場、花壇などそのまま、四季の植物や自然のものに触れる機会を奪わないでほしいです。</p>
<p>・大きい子と小さい子が別々で遊べる「広い園庭と小さい子用の園庭」は必ず維持してください。</p>
<p>・今ある玩具は継続して使用してください。</p>
<p>・お外遊びや絵本の読み聞かせ、手遊びなど現在の保育をできるだけ引き継いでほしいです。</p>
<p>・打出保育所は縦のつながりが大事にされていて、年上のクラスのやっていることにあこがれを持つ子もいると思うので、最初の数年は年齢ごとの子どもたちの活動はそのまま引き継いでほしい。</p>
<p>・縦割りでの大きいこと小さい子のつながり。</p>
<p>・避難訓練、とそれにとまなう外部(県立芦屋高校など)とのつながり。</p>
<p>・年長になる時期がちょうど民間移管の時期となり、一番重要と考える年代での移管はなるべく避けたかったのが本音です。それでも、打出保育所に残っているのは、異年齢交流の取り組みや、先生方の手厚い保育、園庭の使い方や園内環境がとても考えられていてとてもいいと思っているからです。移管先事業者へ出向という形でもいいので、各学年1人は残っていただき、打出保育所の良いところをすべて引き継いでほしいです。</p>
<p>・先生たちが現在行っている情報連携をしっかりと引き継いでいただきたいです。</p>
<p>・朝夕のあいさつなど、全ての先生が子どもに接してくれること。</p>
<p>・現在、朝や夕方などにいてくださるパート保育士の制度を続けてほしい。担任の先生以外にも様々な先生が保育をしてくださることで、より多くの目で保育がなされ、保育士の人数も十分担保され、1人の先生の負担も和らぐのではないかと感じ、公立保育所ならではのこの制度が大きな安心につながっていると思います。</p>

<p>②合同・引き継ぎ保育についての要望</p>
<p>・安全面（危険個所の引継ぎ）・健康面（保健、食事）の確保をまずは何よりも優先させて欲しいです。</p>
<p>・子どもの安全がまず最優先です。</p>
<p>・子どもたちのケアを第一に考え、影響を最小限にするためにも移管前後の引継ぎは十分な日数、時間をかけてしていただきたい。</p>
<p>・大人の都合（市の理想、事業者の保育方針など）が第一ではなく、移管を受ける当事者である子どもにとって安心・安全に過ごせる保育所となっているかを第一に考えて合同・引き継ぎ保育を実施してください。</p>
<p>・子どものことの引継ぎをしっかりとしてほしい。</p>

<p>・公立の先生は、引き継ぎ保育において、「見守り保育」に徹することなく、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、子どもの心が安定していることを確認しながら引継ぎを行ってください。</p>
<p>・民間の担任予定の先生は、既存施設の勤務でお忙しいとは思いますが、移管前の合同保育において、可能な範囲で公立打出保育所の大きな行事（運動会、生活発表会）の企画準備段階から練習・本番まで、毎月の行事や日々の保育（入所式、修了式、お誕生児紹介、クッキング（食育）、所外保育、お散歩、避難訓練、土曜日保育、お盆期間中の保育、プール等）も含め見学し、移管後の引き継ぎ保育の参考としてください。</p>
<p>・全員の先生が変わることは子ども達にとって不安しかいないため、十分な引継ぎ日数、時間をかけてほしいです。</p>
<p>・移管前後1年ずつ毎日市の保育士が各年齢担当に最低1人ずつフォローする体制をお願いしたいです。</p>
<p>・引っ越し、建替え後に民間移管を行ってほしい。保育士の人数を現状と同じように確保してほしい。引き継ぎ保育をもう少し丁寧に行ってほしい。</p>
<p>・移管する引き継ぎの期間を長くとった方がいいと思う。</p>
<p>・移管後は、打出のパート保育士の採用や、クラスに2名ほどの今の打出保育所の先生についてほしい（子どもが落ち着くまで）。</p>
<p>・先生方とも信頼関係を築き、のびのびと楽しく過ごせる場であってほしいです。</p>

③民間移管先の保育士に対しての要望

<p>・保育士のレベルはやはりモチベーションに多く左右されると思います。事業者選定の条件の中には保育士の方の待遇(給与や休暇)についても基準を設けてほしいです。</p>
<p>・現在は保育士さんの異動が激しく、先生たちも数年でほとんどが交代しています。民間になれば異動が少なくなり、同じ先生方にずっと見てもらえる安心感と、逆に先生に合わなかったときの不安感があります。先生の異動の頻度についても情報公開して頂ければと思います。</p>

④実費徴収への要望

<p>・現状以外の実費徴収の無いようにしてください。制服や体操服の導入、教材等の購入、お昼寝布団のレンタル等々は、現状ありませんが十分に保育所生活は送れています。また、実費徴収を増やすことは、経済的に困難を抱える世帯には死活問題ですが、保護者の多数を占めるとは限りません。仮に賛成意見が多かったとしても、経済的に困難を抱える世帯に負担を負わせるべきではありません。そのため関係者協議における保護者代表との協議は不適切であり、全保護者への意向確認が必要です。その際に、反対意見があれば、その意見を尊重する必要があります。</p>
<p>・自費でかかる部分が増えるのではないかと、そこも心配要素である。今までと同じような金額の自費負担にしてほしい。</p>